

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月26日更新

事務事業名		通所型介護予防事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	前田 友里
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2152
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	介護保険法第115条の45	
		介護	11	1	1	11265		成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	-
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成18年の介護保険法改正により介護予防が重点施策として位置づけられた。二次予防対象者(介護保険の恐れのある者)に対し、運動・栄養・口腔の機能向上事業を効果的に組み合わせることで介護予防を効果的に行う。また、交通手段の乏しい、閉じこもりがちな高齢者に送迎を行うことでより多くの事業の参加を促すことができる。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	基本チェックリストを回収し分析を行い、一定の回答数を越えた方が生活機能の低下があると判定し、二次予防対象者と認め、事業参加の案内を行う。参加希望者にアセスメントを行い、「生活機能低下あり」と認められた方に通所型介護予防事業を実施する。実績報告書の提出。委託事業者に委託料を支払う。
【主な予算費目】	需用費、委託料。
【意見や要望】	教室参加者より「バランス良く食べるようになった」、「薄味になった」、「家族に同じことをいうといわれていたが、それがなくなった」、「口の乾燥をあまり感じなくなった」、「長く歩けるようになった」、「痛みが和らいだ」など数多くの意見が寄せられた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	介護予防の必要な二次予防対象者に、アセスメントを行い、「生活機能低下あり」と認められた方に、週1回4ヶ月の通所により運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防事業を実施した。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 二次予防対象者の方で、事業参加を希望される方にアセスメントを行い、週1回の通所により予防事業を実施する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人	予算の主な増減の理由 実施回数等見直しに伴う委託料の増。
→ア事業参加者		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	二次予防対象者。	②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア二次予防対象者数 (単位)人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	要介護状態になることを未然に防止する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) →ア状態が維持・改善した人数 (単位)人
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 高齢者が本事業に参加することにより継続的に自立した生活を継続できるように設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込		
①	活動指標	人	83	61	85	113	90	95	100	105		
②	対象指標	人	1,617	1,540	1,650	1,646	1,700	1,750	1,800	1,850		
③	成果指標	人	54	21	30	33	35	40	45	50		
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	2,291	2,464	3,363	2,856	3,362	3,430	3,464	3,494	
		都道府県支出金	千円	1,145	1,232	1,681	1,428	1,681	1,714	1,731	1,740	
		地方債	千円									
		その他	千円	4,503	4,928	6,724	5,713	6,724	6,858	6,927	6,237	
		繰入金	千円									
	(A)事業費計	一般財源	千円	1,224	5,745	1,689	1,428	1,681	1,722	1,740	1,750	
		(A)のうち指定経費	千円	9,163	14,369	13,457	11,425	13,448	13,724	13,862	13,221	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	4,512	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時間	430	228	228	292	228	228	228	228	
(B)人件費計	千円	1,736	928	928	1,163	928	928	928	928	928		
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,899	15,297	14,385	12,588	14,376	14,652	14,790	14,149		

事務事業名	通所型介護予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 参加者の多くが教室での実技や指導を通じ、健康増進が図られたが、参加者が減少した要因として、継続参加者について別事業へ利用転換を図ったためと思われる。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 実施箇所が、一時期変更となるため、参加者数の減少が危惧されるが、市民の健康意識は高まっていることやより効果のある事業を展開していくため、目標達成は可能である。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防事業を通年で実施し、新規の事業参加者が増えれば、より多くの状態の改善が図れる。また卒業生の受け皿を増やす必要がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 生きがいデイサービス事業の一部転換により、補助対象とすることにしたので、一般会計からの繰り入れの削減が図られている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業の実施は委託で行うが、二次予防対象者へのケアマネジメントは個々に作成する必要があり、削減は図られない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 事業参加者には一部負担をお願いしているため、公平・公正である。ただし、参加希望者の増加により、受講できない人もいるため、受講機会の増加が必要である。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法の趣旨に基づく事業であり、市が介護保険を適正に運営するために、保険者として関与すべき事業であるため、適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

温泉を利用した健康づくりを行うことで、高齢者の健康への関心が高まり、多くの参加があった。ユーパレス弁天の改修が平成25年度実施されたため、その間、福祉会館の利用で対応した。卒業生の受け皿として、弁天の施設でのサロンが実施されているが、枠が足りなくなっているため、受け皿を増やす必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						